

# 令和4年度 島根県立松江北高等学校 学校評価表（年度末報告書）

|             |  |
|-------------|--|
| <b>教育目標</b> | <b>高い知性と豊かな心情、強い意志を培い、心身ともに健康な人格の形成を目指す。</b> |
|-------------|--|

**重点指導目標 1 すべての教科の授業、探究活動、学校行事、生徒会活動、部活動などあらゆる場面を通じて、「読む力」「書く力」「伝える力」を育成する。**

**評価指標 【肯定的評価の割合 生徒：84.6% 保護者：73.4% 教職員:82.5%】**

|           | 令和4年度の取組   | 評価指標【肯定的評価の割合】   | 自己評価及び改善策   | 学校運営協議会の評価・意見   |
|-----------|--|--|---|---|
| 授業の充実     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●授業改善週間</li> <li>●授業評価アンケート</li> <li>●ICT活用による授業改善研修</li> <li>●「総合的な探究の時間」の改善及びプログラム開発</li> </ul>   | <p>●生徒は、授業で扱う内容だけでなく様々な事柄について、興味や関心を抱き、もっと深く知りたい調べたいと思い、自ら考えたりに学んでいる。<br/>【生徒：73.5% 保護者：55.5% 教職員：59.6%】</p> <p>●生徒は、学校での教科の学習に、意欲的かつ継続的に取り組んでいる。<br/>【生徒：77.9% 保護者：68.8% 教職員：86.0%】</p>                   | <p>●授業改善週間や授業評価アンケートの実施により「主体的・対話的で深い学び」の推進を図ったが、十分に生かし切ることができなかった。研究授業や授業評価アンケートの方法を見直し、授業改善を図りたい。</p> <p>●1年生が一人一台端末を使用し始めたこともあって、学校全体でICTの活用が進んでいるが、授業での効果的な活用にはまだ研究が必要であり年度末に行った研修を生かして充実させたい。</p> <p>●「総合的な探究の時間」の取組は年々充実してきてはいるが、まだ主体的な取組としては不十分な生徒も多い。プログラムをキャリア教育的な視点を強めたものに転換し、生徒が主体的に探究に取り組める方法での実施を進めたい。</p> | <p>●「読む力」「書く力」「伝える力」の育成と同時に文系理系に関係なく「数理データサイエンス」に関わる力の育成も必要であり、カリキュラムに取り入れていくとよい。</p> <p>●「読む力」「書く力」「伝える力」の3つの力をどのように評価していくかが課題である。</p> <p>●学習指導に関して、教員の生徒に対する評価が厳しくなるのは生徒に対する期待があるからだと考えられる。一方の生徒から教員への評価が高く出ているのはよいことである。</p> |
| キャリア教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●研修旅行</li> <li>●社会人講座・卒業生講話・出前講座</li> <li>●進路指導校内研修会</li> <li>●志望校別集会</li> <li>●主要大学説明会参加</li> <li>●オンライン進路講演会</li> <li>●希望者補講</li> </ul> | <p>●生徒は、学校での教科の学習以外の教育的活動に、積極的に取り組んでいる。<br/>【生徒：82.0% 保護者：74.8% 教職員：87.7%】</p> <p>●教員は、熱意をもって学習指導をしていますか。<br/>【生徒：88.7% 保護者：79.3% 教職員：93.0%】</p> <p>●本校の進路指導は適切である。<br/>【生徒：85.2% 保護者：78.5% 教職員：80.7%】</p> | <p>●これまで実施してきた研修旅行に加えて2年普通科の近畿研修を初めて実施し、生徒のキャリア形成に役立てることができた。各種講座・講話を実施し、生徒自身の生き方ありかたについて考えさせる機会をつくることができた。研修旅行や各種講座・講話の目的や方法を再検証しさらなる充実を図りたい。</p> <p>●進路志望実現のために生徒の主体性を大切にしながら説明会・講演会・希望者補講を実施した。また、教職員による進路研修会や進路検討会を適宜実施することができた。引き続き進路志望実現に向けて生徒が主体的に取り組める支援を充実させたい。</p>  | <p>●「総合的な探究的な時間」について生徒の興味・関心に基づくものとしキャリア教育的な視点を重視した点はよい方向である。教職員が指導という立場ではなくともに探究するとい考え方をもち進めていく必要がある。</p>  |
| 課外活動の活性化  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●各種研究大会・コンテスト等の参加推奨</li> <li>●校外での自主活動プログラムへの参加推奨</li> <li>●生徒会活動の活性化</li> <li>●部活動の奨励</li> </ul>   |  | <p>●科学の甲子園、高校生国際シンポジウムなど各種コンテストに出場し全国大会で活躍する生徒が増えてきている。また、校外の自主活動プログラムに参加する生徒もいる。生徒の興味関心を大切にしながら様々なチャレンジの場で活躍できるよう支援していきたい。</p> <p>●生徒会活動において生徒会会則の改定やスマホ利用規定の見直しなどについて生徒会執行部が自主的に行うなど活発な活動を行った。生徒の自主性を大切にしながら生徒会活動や部活動の活性化を図りたい。</p>   |   |

**重点指導目標 2 すべての生徒が、「自分が大切にされている」「失敗しても大丈夫」と実感できる生徒集団、教職員集団をつくる。**

**評価指標 【肯定的評価の割合 生徒：72.7% 保護者：66.1% 教職員:68.4%】**

|              | 令和4年度の取組  | 評価指標   | 自己評価及び改善策   | 学校運営協議会の評価・意見  |
|--------------|---|--|---|--|
| 人権意識の醸成      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●人権教育HR</li> <li>●人権講演会</li> <li>●いじめアンケート</li> <li>●いじめ防止対策委員会</li> </ul>             | <p>●生徒は、他人を思いやる心を持って人に接することができる。<br/>【生徒：93.0% 保護者：88.8% 教職員：80.7%】</p> <p>●生徒は、多様な価値観を認め、豊かな人間関係を築くことができている。<br/>【生徒：90.7% 保護者：83.2% 教職員：89.5%】</p> | <p>●HR活動や人権講演会で新しい取組を実施し、教職員向けの研修を実施した。生徒の実態把握に努め効果的な年間計画のもと取組を進めたい。</p> <p>●いじめアンケートを各学期行い、いじめの早期発見に努めることができたが、回収率が十分でないクラスがあった。学校全体の取組としていじめの防止及び発生時の対策にあたるため、いじめ防止対策委員会をしっかりと機能させたい。</p> | <p>●新型コロナウイルスの影響により生徒の学校生活における充実感や人間関係に変化があると思われる。十分な配慮を持って対応することが必要である。</p> <p>●成人教育・主権者教育についての明確な位置づけがあるとよい。</p> |
| 生徒相談・特別支援の充実 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●特別支援・生徒支援委員会</li> <li>●スクールカウンセラー</li> <li>●QIアンケート</li> <li>●インクルーシブ教育の推進</li> </ul> | <p>●生徒は、人権が保障され安心して生活できる学校である。<br/>【生徒：90.1% 保護者：84.4% 教職員：87.7%】</p> <p>●生徒は、悩み事や心配事を相談しやすい。<br/>【生徒：61.3% 保護者：60.4% 教職員：66.7%】</p>                 | <p>●支援委員会については「全体会」と「ケース会議」とに機能を分けて行い、また、必要なクラスの教科担当者会を行い教職員の情報共有を図った。また、QIアンケートの実施などにより支援の必要な生徒の早期把握に努めた。今後、さらに校内体制の強化に努めたい。</p>   |  |

**重点指導目標 3 社会人として期待される挨拶、言葉遣いなどのふるまいを、あたりまえの習慣として自然に行うことができるようにする。**

**評価指標 【肯定的評価の割合 生徒：81.5% 保護者：67.1% 教職員:56.1%】**

|                       | 令和4年度の取組   | 評価指標【肯定的評価の割合】   | 自己評価及び改善策   | 学校運営協議会の評価・意見   |
|-----------------------|--|--|---|---|
| 基本的生活習慣の確立<br>規範意識の定着 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●生活時間調査</li> <li>●担任による指導（面談等）</li> <li>●情報モラル講座</li> <li>●薬物乱用防止講座</li> <li>●交通安全街頭指導</li> </ul> | <p>●生徒は、学校や社会のルールを守ることができている。<br/>【生徒：94.0% 保護者：90.9% 教職員：86.0%】</p> <p>●生徒は、他人との関係や集団生活をうまくやっていくことができている。<br/>【生徒：90.4% 保護者：88.8% 教職員：91.2%】</p> <p>●本校の生活指導は適切である。（言葉遣い・ふるまい・交通マナー・身だしなみ）<br/>【生徒：87.6% 保護者：81.5% 教職員：84.2%】</p> | <p>●挨拶や自転車の運転の仕方など様々なルールやマナーについて折に触れ注意喚起を行った。また、情報モラル講座や薬物乱用防止講座など社会性を身につけるための講座を行った。特に情報端末（スマートフォン等）の使用についてはすべてを禁止するのではなく、場面によって使用を認め、使い方を考えさせる指導を行った。モラルやマナーについて生徒に主体的に考えさせる機会をつくりながら粘り強く指導していきたい。</p> <p>●制服をAタイプBタイプとし、男女ともスラックスの着用ができるようにした。服装指導について全教員で継続的に行っていきたい。</p> | <p>●自転車運転のマナーについては以前に比べると高校生はとてよくなったと感じている。</p> <p>●情報モラル教育は大切であり、AIの発達に対応した情報リテラシーの育成が求められる。</p> |

**重点目標以外で評価を求めた項目**

|         | 令和4年度の取組  | 評価指標【肯定的評価の割合】  | 自己評価及び改善策   | 学校運営協議会の評価・意見  |
|---------|---|---|---|--|
| 情報発信の充実 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ホームページ</li> <li>●緊急メール</li> <li>●Google Workspace の活用</li> <li>●学校紹介動画配信</li> <li>●学年保護者集会動画配信</li> </ul> | <p>●本校の情報発信は適切である。（ホームページ、学校通信「あかやま」、学年通信、クラス通信、各種「紙」によるお知らせ、緊急メール、Google Classroom）<br/>【生徒：77.9% 保護者：77.5% 教職員：80.7%】</p> | <p>●学校ホームページについてクオリティやスピードにおいて不十分である。部内体制を整えるとともにPTA組織との連携を行い改善を図りたい。</p> <p>●Google Workspace for Educationを活用して生徒への情報提供が進んできた。有効な活用法について研究しさらなる充実を図りたい。</p> <p>●中学生向け学校紹介動画だけでなく、保護者向けの情報提供のための動画配信、学園祭のLIVE配信等を積極的に行った。配信対象や目的を考慮しながら継続していきたい。</p> | <p>●情報発信については忙しさもあり教職員だけで対応するのは難しいため、PTA等との連携を図り行っていくのがよい。</p> |

|      |   |
|------|---|
| 総合評価 | <p>●本校に入学して良かったと思う。</p> <p>評価指標<br/>【肯定的評価の割合 生徒：80.1% 保護者：89.7%】</p> |
|------|---|